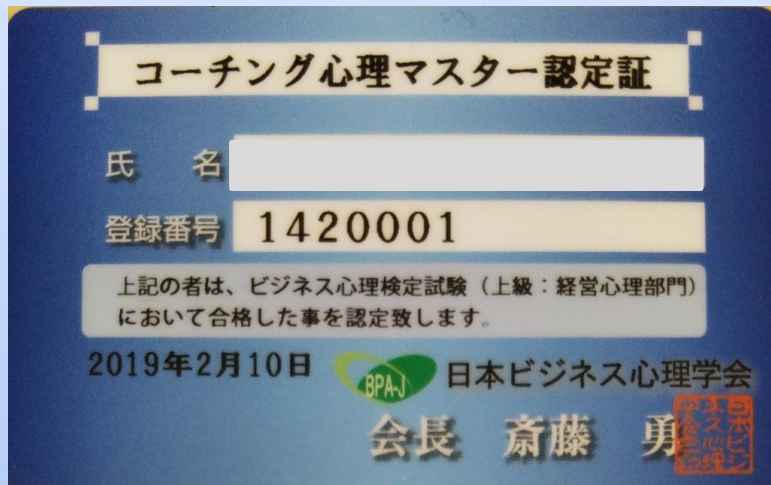


ビジネス心理検定のご案内 (2023年度版Ver2.0)



心理と行動の科学を応用できるプロフェッショナルの資格！

2010年5月に当学会創設。ビジネス心理の領域としては「マネジメント心理」「マーケティング心理」「コーチング心理」、さらに23年度から「行動デザイン」という4分野があります。合格すると下記のような「認定証カード」が与えられます。



会長 齋藤 勇
立正大学 名誉教授



副会長 匠 英一

デジタルハリウッド大学：元教授

ビジネスを成功に導く総合的な“心の科学”を実務に活用できるプロフェッショナルを養成するための検定試験

日本ビジネス心理学会が主催する検定試験。初級・中級・上級（上級特別）と3つのレベルの検定試験があり、ビジネス心理を初めて学ぶ人でもプロフェッショナルになるために着実にレベルアップできます。合格すると「認定ビジネス心理マスター」や「認定コーチング心理マスター」（冒頭に“認定”が入る）などの等級ごとに称号が付与されます。

初級試験



中級試験



上級試験



※中級以上は、ビジネス心理の4領域（マネジメント心理／マーケティング心理／コーチング心理／行動デザイン）から、一つだけを選び専門的な実践知識の獲得を目指します。

▼教科書持ち込みやノートを参考にしながらのネット受験制

全ての試験が**ネット式で自宅でも受験**できるため、参考にできるものは何を利用しても可となります。このような試験方式では、暗記式の学びは意味がなく具体的な場面をベースにした解決が重視されるためです。（※スマホだけでも受験可能）

▼わかりやすい解説の動画教材が受験者全てに提供される

受験者には**必修として動画教材**（初級-5時間分：中級以上-10時間分）が提供されます。テキストの単なる解説以上に、本質的な考え方を中心に事例も豊富な内容です。

▼落ちても2回目は無料で再受験でき早期合格（有料）も可

初回に受験申込みすれば、1回目が不合格であっても**2回目は無料**で再受験できます。また、早期合格をめざしたい方には「ZOOM式認定講座」という名称で**ポイント付与**があるセミナー講座（※当学会サイトにて別途告知）がお勧めです。

ビジネス心理検定の認定資格の各名称

■ビジネス心理検定の種類と認定名称 ※名称は「●」印のもので冒頭に“認定”の文字を入れる

※合格するとビジネス心理に関する専門技能の有資格者として、下記の認定称号が与えられます。

	マネジメント心理分野	マーケティング心理分野	コーチング心理分野	行動デザイン分野
<p>上級 特別</p> <p>上級</p> 	<p>●認定マネジメント心理上級マスター</p> 	<p>●認定マーケティング心理上級マスター</p> 	<p>●認定コーチング心理上級マスター</p> 	<p>●認定行動デザイン上級マスター</p> 
<p>中級</p> 	<p>●認定マネジメント心理マスター</p> 	<p>●認定マーケティング心理マスター</p> 	<p>●認定コーチング心理マスター</p> 	<p>●認定行動デザインマスター</p> 
<p>初級</p>	<p>ビジネス基礎心理分野</p> <p>●認定ビジネス心理初級マスター</p> 	<p>コーチング基礎心理分野</p> <p>●認定コーチング心理初級マスター</p> 	<p>行動デザイン基礎分野</p> <p>●認定行動デザイン初級マスター</p> 	

ネット式試験による試験手順

1 ネット試験の申込 受験料の振込み

当会サイトからの受験の申込登録してください。
記入時点で**自動返信**がメールできますので、指定の口座に振込ください。 ※自動返信がない場合は事務局に連絡ください
(請求書や領収書は事務局で発行しませんが必要な方は申し出可)

2 試験の開始

試験はWEBオンライン式であるため、試験当日午前中までに指定サイトの通知が各受験者に直接メールされます。試験定刻になると指定サイト上から問題がWEB上で自動公開され、サイト上から記入していきます。

※当日、受験前に受験票などを添付データで事務局送ってもらいます

3 試験の終了

回答記入はすべてWEB上で行いますので、記入後に送信ボタンを押せばその時点で完了となります。とくに何もその後する必要はありませんが、一度回答「送信」をしてしまうとやり直しはできません。

4 採点の留意点

試験時間は22年度までは“5分間”の追加をしていましたが、23年度より定刻制にもどしました。初級試験なら90分になるわけですが、それを越えた場合は減点、もしくは失格とします。ただし、明確な理由により、通信等のトラブルが原因のときは例外とします。

初級

●問題／100点満点

- ・初級は3つの分野(ビジネス心理／コーチング心理／行動デザイン)があり、どれか一つを選択します。
- ・「ビジネス心理」の初級は、四択式の全部マークシート式50問です。
- ・「コーチング心理」と「行動デザイン」の初級は、マークシート式(25問)と**記述式(10問)**の併用型で、配点は均等に50点と50点です。

●試験時間／90分

●受験合格率／70%

●公式オンライン講座の任意選択／10点分の得点ポイントを付与

初級受験は、18歳以上の成人が条件です。問題は具体的な対話や事例を軸にした応用になり、暗記的な基礎問題はなく、現場での判断を問う文章題の4択式です。

なおコーチング心理の指定テキストは「ど素人のための心理学の本」(翔泳社)と学会サイトにあるPDF版**(有料)**があります。

行動デザインの指定テキストは、「変化を嫌う人を動かす」(草思社)が市販されていますので購入ください。

中級

- 問題／200点満点
 - 下線部の説明や文の穴埋め記述式(各50文字以内)
- 試験時間／90分
 - ※ 初級と中級の両方の同日W受験も可能
- 受験者合格率／60%
- 必修「公式オンライン講座」は必ず事前受講のこと

中級受験は、初級合格後に受けるものですが、同じ日に初級と中級を同時に受けるダブル受験もできます。

試験は4領域に分かれて受験するので、マネジメント心理は公式テキスト「ビジネス心理」第2巻、マーケティング心理は第3巻、コーチング心理や行動デザイン(※これらは一般書籍)のいずれかを選び専門性を明確にして受験ください。

また、本年(23年)より中級者向け「ZOOM式認定講座」の受講者はポイント付与(※15点限度枠)があります。

上級

- 問題／**200点満点** 記述式5問／各問500文字～800文字程
- 面接はZOOM会議式で2人の面接官が実施
- 試験時間／記述式＝90分、面接式20分（計110分）
- 受験者合格率／50%
- 任意の「**ZOOM式個別指導**」(計3回)は得点15点付き。
また、その他の当会主催の「ZOOM式認定講座」の受講者は10点まで得点ポイントが付与されます。（※最大計25点可）

上級受験は、中級合格が前提です。
試験は中級と同じく4領域に分かれ、記述問題の文字数が中級よりずっと多くなります。
試験得点の配分率は、記述式100点と面接式100点で計200点満点（合格最低点140点）となります。

上級特別

- 問題／200点満点
- 面接式30分のみ ※面接はZOOM会議式
- ※必修「ZOOM式個別指導」(5回計8時間分)
- ※任意「公式オンライン講座」は各巻ごとに5点ポイント付く
- 受験者合格率／40%
- 任意の当会主催の「ZOOM式認定講座」の受講者は10点まで得点ポイントが付与されます。(※最大計25点可)

「上級特別コース」は短期取得の“飛び級制度”です。初級や中級は受験せずに合格をめざしたい方で、すでに高い実務経験が3年以上あり、心理系や経営系の資格を持っている方。資格がなくても実績証明書を出して受験できます。そのうえで、次の3つが事前の準備事項としてあります。

- 1: 必修「ZOOM式個別指導」(計5回)を受講すること
- 2: 任意「公式オンライン講座」は各巻5点ごとの得点付与

▼教科書の暗記ではなく、事例に対応した学び方にする

1 【初級の学び方】

教科書（参考書含む）など見てもよい試験であることから、暗記型の学習法ではなく内容の本質的な理解が重要となってきます。指定テキストを3回以上読み、その事例や推薦図書、当学会主催の各種ZOOM式の各種研究会などに参加ください。

2 【中級の学び方】

中級は全て文章題の下線の説明や穴埋め式の記述式の試験であるため、1回答当たり50文字以内で書きます。次の例題のような形式です。

『ビジネス心理検定で合格するためにどんな学び方がよいのか？ それは“学び方”を受検式ではなく、知識の“所有の心理学”ではなく“使用の心理学”に変革していくことです。このような目的の学習スタイルをどう変えるのか、それがビジネス心理で強調されている「戦略的学習」や「学びほぐし」の課題（※1）となるものだからです。

これは自分の知識を再構成していくよりも、新たな知識の習得であり、試験問題にいか
に効率的に対処していくかが“(A)”となっています。・・・以下略』

※1の回答は⇒「褒めて育てよ等の経験知を内省し直して、叱る必要性がわかるなどのスキーマレベルの学びのこと」といった45文字になります。

3 【上級の学び方】（※「上級特別」コースは面接30分のみ試験です）

上級は記述（大問5つ）と面接（20分）の二つがあり、記述は各問500字～800字です。問題例としては「レジリエンスの育成を具体的な企業例をもとに論じなさい」といった実践課題に近い内容を問います。面接は二人の面接官から質問を受けます。

【定例】（無料）文化行動デザインフォーラム

（ZOOM式：定例の毎月第3土曜午前10時30分～12時15分）

【内容】 このフォーラムは多様な他団体との協賛式によるもので、新しい心理学の応用や可能性を考えていきます。

とくに行動経済学で注目される“ナッジ”説や活動理論（エンゲストローム）など人の行動と文化の関わりなどに注目していきます。

定例会として多方面で活躍される心理や教育その他行動科学の専門家との対談を中心にしたバラエティのある内容です。入門としてだけでなく各分野で活躍する心理コンサルの思考や行動の仕方など互いに学び合えるものです。

その時々で内容は違いますが、コメンター役（当会理事他）と対談のパネラーが各回で変わります。詳細は専用サイトで別途1月20日以降に掲示されます。

問い合わせ⇒takuwan@bpa-j.org

参考動画⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=UBiemttPL5E>

【定例】（有料）ビジネス心理アカデミー

（ZOOM式：定例の毎月第4土曜10時半～12時半）

1/23 2/25 3/25（この日は中止） 4/22 5/27 6/24 7/22 8/26 9/23

【内容】 当会主催の会員制ですので正規会員に登録ください（年会費¥2万）。

登録先⇒ <https://sv108.wadax.ne.jp/~bpa-j-org/member001.html>

毎回、順番にレポーターを決め、参考図書を軸に発表・解説してもらいます。本気で学びたい方向けで輪読会的な形ですが、コメンター（匠理事他）が助言しながら互いの理解を深めていきます。

ポイント付与はありませんが、1年以上継続された方は初級試験の免除や、当会の講師や“スーパーバイザー”への推薦・認定があります。初回は無料参加もOKです。

問い合わせ⇒takuwan@bpa-j.org

参考動画⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=uMBRpxG3JEO>

▼【推薦図書】 ※すでに店頭で販売されていないものはアマゾン等でご購入ください。

<基礎心理>

- 1: 齋藤勇著『知識ゼロでも楽しく読める！心理学』(西東社)
- 2: ★匠英一著『ど素人でもわかる心理学の本』(翔泳社)

<マネジメント心理>

- 1: 匠英一著『認知科学:最強の仕事力』(高橋書店)
- 2: 榎本博明著『ビジネス心理学大全』(日本経済新聞出版)

<マーケティング心理>

- 1: 匠英一著『ビジネス心理学:42の具体例で学ぶ顧客の心のつかみ方』
(経団連出版)
- 2: 花尾由香里、他著『消費者行動の心理学:消費者と企業のよりよい関係性』
(北大路書房)

<コーチング心理>

- 1: 岩井俊憲著『勇気づけの心理学』(金子書房)
- 2: ロバート・ビスワス・ディナー著『ポジティブ・コーチングの教科書』(草思社)
- 3: 森俊夫著『ブリーフセラピーの極意』(ほんの森出版)

<行動デザイン>

- 1: 大竹文雄著『行動経済学の使い方』(岩波新書)
- 2: リチャード・セイラー他著『NUDGE 実践 行動経済学 完全版』(日経BP)

「ビジネス心理検定センター」の担当企業(株)CATは、日本ビジネス心理学会に委託されて、事務処理の運営管理をしています。



日本ビジネス心理学会
Business psychological Association of Japan

■ ビジネス心理学会 (BPA-J) 本部事務局

【住所】〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町2-18-5藤光ビル3F

(株)CAT内

セミナー・受講の相談等の連絡：takuei@bpa-j.org

学会サイト：<http://www.bpa-j.org/>